



よいことのために手を取りあおう

2025-26年度 RI会長: フランチェスコ・アレツツオ

2025-26年度 会長: 松尾 泰明

幹事: 垣本 英作

S.A.A.: 岩西 智宏

クラブスローガン

「繋ごう」～みらいのために～

No.3627 2月17日(火)



本日の卓話 2月17日(火)

うま
「午年生まれの会員卓話」

高 誠会員、上園芳孝会員



次週の卓話 2月24日(火)

「和歌山とベトナムの交流」

和歌山ベトナム友好会

幹事 浦 晴雄さん



先週の例会記録

- ✿ロータリーソング それでこそロータリー
- ✿ビジター紹介 東京中央RCより北崎 隆さん
- ✿出席報告 (会員数78名、免除会員4名)
本日出席(2/10) 57名 75.00%
- ✿マイキャップ なし
- ✿S. A. A. (ニコニコ箱) 松尾泰明さん、垣本英作さん、西岡千博さん、羽原俊哉さん、林 俊行さん、紀 俊崇さん、岩西智宏さん、川崎 悟さん
- 本日合計 ￥24,500
- 今年度累計額 ￥1,663,965

(財団寄付献金箱) 松尾泰明さん、垣本英作さん、西岡千博さん
(米山奨学会献金箱) 松尾泰明さん、垣本英作さん、西岡千博さん
(青少年育成奨励金) 松尾泰明さん、垣本英作さん、西岡千博さん、羽原俊哉さん

2月は平和構築と紛争予防月間です



誕生日お祝い



65周年記念植樹の梅が今年も開花！

紅梅は今が見頃！
今週末には白梅も!?
場所: 県立美術館駐車場入口
撮影: 野志幸生会員(2026.2.9)



会長あいさつ



会長 松尾 泰明

今月2月は平和構築と紛争予防月間であります。ちょうど4年前、2月20日に北京オリンピックが閉幕しました。その4日後、ロシアはウクライナ進行を始めました。多くの人はこのような長期戦を予想しませんでした。丸4年を迎えます。

先の戦争中、和歌山RCはその名を火曜会と代えて例会を行ったと聞きます。国家の対立をクラブの外に置いたわけです。政治的なことには介入しない。一貫してこのスタンスは今も変わりないと思います。

しかし、平和を口にする以上、政治を語らずしては難しいのではないか？ 如何に表現すべきだろうか？

でもこれは「戦争を止める」こういう事ではないのではないか。

「如何に戦争が起きない状態を社会の中に組み込むか」そういう意味ではなかろうかという事です。

東西の冷戦を経て、世界のパワーバランスも時代と共に変化し、内戦や、民族対立は世界の各地で常態化しています。

紛争が起こる前には、貧困、教育格差、水や衛生の不足、雇用不安、社会的排除などが積み重なっています。爆音や銃声が聞こえる前に、既に社会は壊れているという現実です。

清潔な水の提供は母子の健康を守り、教育の機会にもつながります。どこかで聞いた単語が並んでいますが、これは国際ロータリーの7つの重点分野のうちの幾つかです。1年12ヶ月のうち7ヶ月が指定月間として活動中であります。

これら全てが関わりあって、平和構築 Peacebuilding が実現できるという事だと思います。これからもこの7つの重点分野を意識していこうと感じました。

「2026-2027年度 第3回理事予定者会議」開催!

2026年2月10日(火) 18:30~



会長報告

先週火曜日、第8回理事会が開催されました。既に皆さんにメールでご案内しておりますが、以前例会でも使用していたピアノをお引き受けいただける方を募集しております。2月28日締め切りです。

ロータリー財団 認証

マルチブル・ポール・ハリス・フェロー (3) 西岡千博 会員
マルチブル・ポール・ハリス・フェロー (1) 松井良樹 会員
ポール・ハリス・フェロー 垣本英作 会員
ポール・ハリス・フェロー 中野智一 会員



幹事報告

- 例会変更のお知らせ (和歌山西RC、和歌山アゼリアRC)
- 本日2026-2027年度 第3回理事予定者会議 18:30~
- 本日第4回青少年育成奨励特別委員会 13:40~
(翡翠 ひすい)
- 抜萃(ばっしゅい)のつり 配布
- 回覧:ロータリーマガジン(2月号)

委員会報告



親睦・ソング委員会
濱田 勝 委員長
さんか会開催のご案内

卓

話

「現代に生きる世阿弥の言葉」



公益社団法人京都観世会館理事
重要無形文化財総合指定保持
JBC(日本ビジネス協会)能楽部会講師
分林道治さん

日本が世界に誇る三大古典芸能の一つ「能楽」。「能楽」とは「能」と「狂言」を合わせた言葉です。

「能」は今からおよそ650年前の室町時代に観阿弥、世阿弥親子によって大成されました。その後、多くの困難を乗り越え、令和の現在に至るまで一度も途絶えることなく受け継がれ、2008年にはユネスコの世界無形文化遺産に日本で初めて登録されました。

その魅力はなんといっても日本人が日本人のために作った芸能であること。「秘すれば花」という言葉に代表されるように年を重ねるごとに。そして人生経験が豊富になるにつれて能の魅力は増していきます。

「能に果てなし」という言葉の如く「能」の世界にゴールはありません。そんな「能」を大成した世阿弥。彼は「能」の役者でありながら、一座をまとめるリーダーでもありました。天才的な芸力に加え、世の中の動きを観察しながら「能」をどのようにすれば世間にアピールすることが出来るのか?他の座より勝ることが出来るのか?観客をもっと集めることができるとか?を冷静に分析し、他の芸能を抑え「能」の人気を不動のものにしました。

また彼は後世のために多くの書物も残しました。現在でもその書物は我々能役者の専門書として読まれる一方、その中に書かれている多くの言葉は一般の方にも経営のヒント、人生の指針として愛されています。

今回はそんな世阿弥が残した言葉のいくつかをご紹介しながら「能」の魅力をお話しさせていただきます。



(左から)紹介者の紀委員長、卓話ゲスト分林さん、松尾会長

第4回 青少年育成奨励特別委員会 開催

2026年2月10日(火) 例会終了後

